

未来の羅臼の発展に貢献したいという心を育む

羅臼町立春松小学校 校長 藤吉桂子

担当者 瀬川 航平

1 本校の ESD の特徴

本校は、「ふるさとに誇りをもち、進んでかかわる子」を学校教育目標として、ESDを「豊かな関わりを通して学習する理念と方法」と捉え、ESDの実践を通して「自立の力と共生の心を育む」力の育成を目標とした。

具体的には、海洋、環境、防災、生物多様性を柱に、①知床の海に関わる活動、②環境に係わる学習、③地震と津波に係わる学習、④外来種と熊に係わる学習を行った。

2 活動・全体計画

①知床の海に係わる学習

水産業が盛んな地域である羅臼町の水産業について学ぶため、市場や水産加工場見学などの校外学習を行うとともに、漁業に携わる漁業協同組合青年部の協力を得て、羅臼で獲れる魚介類のさばき方を教えてもらったり、創作料理を一緒に作ったりする活動を通して水産自然や自然環境の守りながら漁業を営む人々の苦労や願いを知るとともに、これからの水産業の在り方を考えた。

②環境に係わる活動

自分たちが使う水道水の用途や量、送られてくる経路、水源を確保するための取組につい

て浄水場の見学をとおして学ぶとともに、使った後の水のゆくえを調べ浄化槽のしくみにより再利用され、施設で処理されていることを企業や外部講師の協力を得て学んだ。

③地震と津波に係わる学習

幼稚園や地域の方々と合同避難訓練を実施するとともに、6年生を対象に北海道教育大学



釧路校の境教授とその研究室学生の協力を得て、地震により発生した津波についての学習を行った。この学習は「国後島があれば、津波の被害はないのだろうか」のテーマの下、大がかりな津波発生実験装置を使い、「普通の波」と「津波の

波」の違いについて考え、地震が発生した際の自分がとるべき行動について学んだ。

④外来種と熊に係わる学習

世界自然遺産の地に住む子どもたちが「自然豊かな羅臼」の価値について考え、それを守り維持する重要性について学ぶため、「知床財団」の協力を得て、日本の固有種とは異なる外来生物について学ぶ「ハチの学習」やヒグマの生息地であることを踏まえ、熊に遭遇した時の対処方法、熊を取り巻く生態環境について学んだ。



3 活動事例

■ 1・2年生 【知床学（海洋教育）「めざせいきものはかせ」】

羅臼町郷土資料館周辺の前庭や裏山、前浜を活動場所として、実際に川に入って生き物を探したり、虫を捕まえたりするなどの活動を通して、自然の素晴らしさや生命の大切さを学ぶ活動を実施する。

■ 2年生 【知床学（海洋教育）】

国語「さけがおおきくなるまで」と関連付けながら漁業関係者の協力を得て、サケの稚魚の放流体験をとおして豊かな海を持続する大切さについて学ぶ活動を実施する。

■ 3年生 【知床学（海洋教育）「ふるさと探検隊」】

羅臼町の基幹産業である「漁業の仕事」について調べる社会科の学習と関連付けながら実際に働いている人にインタビューするなど情報収集の方法について学ぶ活動を行う。

■ 4年生 【知床学（海洋教育）「羅臼の魅力再発見」社会「地域で受けつがれてきたのもの」】

羅臼の魅力について話し合ったり、社会「地域で受けつがれてきたのもの」と関連付けながら地域行事「こんぶフェスタ」への参画、地域や観光客からアンケート調査などの学習をとおして学んだことを



羅臼の魅力としてユネスコスクール発表会で発信する。

■ 5年生 【知床学（海洋教育）「自然とともに生きる」】

漁業協同組合、地元の漁業者などを講師に招き、昆布に関する学習、サケ（鮭）学習を調

理などの体験学習を通して学ぶ活動を実施するとともに国語「自然とともに生きる」と関連付けながら知床の自然の価値を理解し、将来にわたり知床の自然の関わり方について考える学習を実施する。

■ 6年生【知床学（海洋教育）自分の考えを発信しよう】



漁師をはじめとした水産業はもとより、様々な職種の職業人を講師に招き、仕事に関する講話や児童との対話を通して、身のまわりの仕事や環境への関心を高める学習を実施する。また、

これまでの海洋教育で学んだことを踏まえ、自分たちの考えを地域に発信する。

4 成果と課題

多様な他者と児童が様々な体験を通じた学習を展開することにより、ふるさと羅臼をより深く理解し、郷土に対する誇りや愛着を持ち、さらには未来の羅臼の発展に貢献したいという心を育むことができた。

羅臼町立春松小学校 メールアドレス

shunshou@seagreen.ocn.ne.jp

第1学年 生活科学習指導案

日時 2022年1月19日(水) 4校時
授業者 教諭 谷垣 香奈恵

1. 単元名 きせつとなかよし ふゆ

2. 指導要領とのかかわり

◇指導内容 ※1単元を2内容で構成する。

- (5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。
- (6) 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

3. 単元の目標

冬の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、冬とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、冬の自然の様子や秋から冬への変化、それを利用した遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

4. 単元について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準	冬の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、冬の自然の様子や秋から冬への変化、それを利用した遊びの面白さや自然の不思議さに気付いている。	冬の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、冬とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	冬の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしていたりしている。
小単元に おける 評価規準	1 ①自然の样子の共通点や違い、季節の移り変わりに気付いている。	①諸感覚を生かして、学校周辺の冬の自然に関わっている。	①冬の自然を楽しみたいという思いや願いをもって、身近な自然と触れ合っている。
	2 ②冬の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり創り出したりすることの面白さに気付いている。	②冬の自然の特徴を確かめながら、予想したり確かめたりして、遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。	②みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、遊びを創り出そうとしている。
	3 ③自然の中のきまり、自然の事象の不思議さに気付いている。	③冬の自然の特徴を確かめながら、試したり見直したりして、遊びやルールを工夫している。	③友だちのよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。
	4 ④身近な自然と自分たちの生活との結びつきや、季節によって生活の様子が変わることに気付いている。	④冬の自然の特徴や、それを利用した遊びの面白さを振り返り、表現している。	④自分たちの生活が、身近な自然や季節の変化と関わっていることを実感し、それらを取り入れて生活を楽しくしようとしている。
評価方法	・観察 ・発言 ・ワークシート ・表現物	・観察 ・発言 ・ワークシート ・表現物	・観察 ・発言 ・ワークシート ・表現物
児童の実態	○幼稚園での活動経験から、季節の移り変わりに気付くことができる児童が多い。 ●遊び自体の面白さに気付けるが、そこから自然の不思議さに気付きを関連付けることが難しい。	●より良いものにしようという意識が薄く、試行錯誤しながら活動に取り組む習慣は身に付いていない。 ●自分の考えはもっているが、言葉で表現し伝えることに苦手意識が強い。	○日常生活と学習内容を結び付け、季節の変化を楽しみながら日々過ごしている。 ●友だちとの関わり合いを通じて遊びを楽しんだり、互いの意見を尊重しながら活動したりすることに課題がある。
言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 冬の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、気付いたことや思ったことを絵（写真）や文で表現したり、自分の気付きを伝え合ったりする。 冬の自然の特徴や、それを利用した遊びの面白さなど、単元全体を振り返る。 		

5. 研究内容とのかかわり

	1. 言語活動の充実	2. 対話を通じた学び	3. 主体的な学び
研究主題の視点	・春、夏、秋の自然の様子と比べながら見通しをもって学習に取り組んだり、活動や体験の様子を常に振り返りながら学習を進めたりできるようにする。(教室掲示の工夫)	・伝え合い交流する活動を積極的に取り入れ、友だちの意見を取り入れながら学習活動を進めていけるようにする。(対話の場の設定)	・学習活動全体を通して気付いたことや思ったことを絵や文で振り返り、日常生活と結び付けられるようにする。 (学習内容を日常生活と結びつける単元終末の振り返りの工夫)

6. 単元の指導計画（15時間）

【知・技】知識・技能

【思・判・表】思考・判断・表現

【主】主体的に学習に取り組む態度

【他教科に生きる力として】

国語科 話し方・聞き方・書き方に関する学習
 図画工作科 「カラフルいろみず」
 道徳科 自然愛護に関する学習

【日常に生きる力として】

季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしたり、みんなで遊びを創り出そうとしたりする。

【第4小単元】（2h） なにをかんじたかな？

(14・15) 学習活動全体を振り返り、冬の自然の特徴や、それを利用した遊びの面白さなどについてまとめ、伝え合う。

※【主④】については、今後の生活の様子も見取り、評価する。

【主④】

【思・判・表④】

【知・技④】

【第3小単元】（5h） もっとたのしくあそぶためには？

(9・10) 前小単元を振り返り、うまくいったことや思ったようにならなかったことを共有し、友だちのアドバイス等を取り入れながら遊び方やルールを工夫する。
 (11・12) 試したり見直したりしながら、風・雪・氷などを使って、楽しく遊ぶ。

(13) 活動を振り返り、気付いたことや思ったことを伝え合う。

【主③】

【思・判・表③】

【思・判・表③】

【主③】

【知・技③】

【第2小単元】（5h） ふゆのしぜんであそぼう！

(4) 前小単元で気付いた冬の自然の様子について振り返り、どのような遊びができるのかを話し合う。(本時)

(5～7) 予想したり確かめたりしながら、遊びに使う物をつくったり遊んだりする。

(8) 活動を振り返り、気付いたことや思ったことを伝え合う。

【主②】

【知・技②】

【思・判・表②】

【主②】

【知・技②】

【第1小単元】（3h） どうなっているかな？

(1・2) 幼稚園での経験を思い出したり他の季節の様子と比べたりすることで、冬の学校周辺の様子を予想して、冬探しに行く。

(3) 気付いたことや見付けたことを絵(写真)や文で表現し、伝え合う。

【主①】

【思・判・表①】

【知・技①】

7. 本時の目標

本時の目標	冬の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり創り出したりすることの面白さに気付くことができる。【知・技】 みんなで楽しく遊びたいという願いをもって、遊びを創り出そうとしている。【主】
-------	--

8. 本時の展開 (4 / 15)

	○学習活動	◇はたらきかけ *支援 ●評価規準 () 評価の方法
つかむ	○冬探しの様子を振り返る。 「雪山があったから、おしりで滑った。」 「風が強くて、とばされそうだった。」 「地面がツルツルに凍っていて、滑った。」 ○冬遊びについて思いや願いを膨らませる。 「雪は冬しかないから、雪あそびしたい。」 「幼稚園の時のアイスやさんをしたい。」 「風を使って遊べないかな…。」	◇活動の写真や児童の気付きなどを振り返り、「やってみよう!」「こうしてみよう!」などの児童の思いや願いが膨らむようはたらきかける。 *これまでの季節と同様に、冬の自然も遊びに利用できるのではないかと問いかけ、冬ならではの遊びを考えていけるようにする。
探る	ふゆのあそびについて、けいかくをたてよう! ○冬の自然を利用した遊びについて話し合う。☑ 〈風〉 「凧を作りたいな。」「風車を作りたい。」 〈雪〉 「巨大雪だるまを作りたいな。」「大きいかまくらを作りたいな。」「かき氷屋さんをひらきたい。」 〈氷〉 「色水でカラフル氷を作りたい。」	◇出てきた意見は分類して板書し、児童が思考を整理しやすいようにする。 ◇考えを広げられるようにしたい。そのために、互いの意見を肯定的に聴くよう声を掛ける。「なるほど」「いいね」「思いつかなかった」などの反応を大切にしたい。
まとめる	○やってみよう遊びを決め、計画をたてる。☑ 「グラウンドに巨大雪だるまを作って、みんなに見てもらいたい。」「どこに作ろうかな?」 「そり滑りはコースを作って、列に並んで順番にやろう。」 「かまくらができたら、みんなをよぼう!」	●冬の自然はいろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり創り出したりすることの面白さに気付いている。【知・技】(発言・ワークシート) ◇遊び場・遊びのルール・必要な道具など、具体的イメージがもてるようはたらきかける。
広げる	○どのような計画をたてたか、互いに伝え合う。 ○本時の学習内容を振り返り、次時の活動に繋ぐ。	●みんなで楽しく遊びたいという願いをもって、遊びを創り出そうとしている。【主】(発言・ワークシート) *「1人ではなく、遊びを広げてみんなで楽しむ」ための計画をたてられるよう、声を掛ける。 ◇他のグループの発表を聴くことで、冬遊びへの思いや願いが高まるようにする。

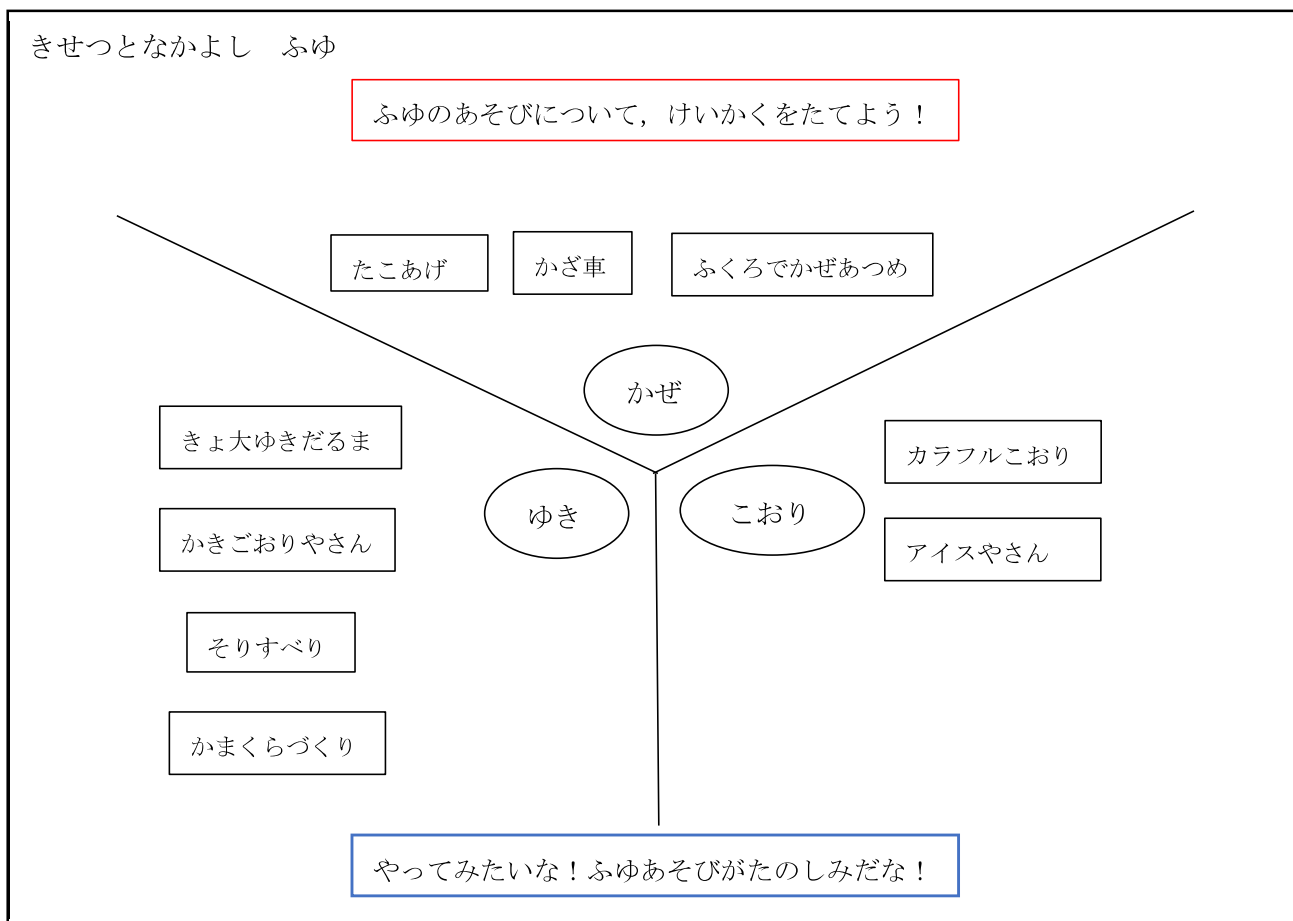
【知・技】

A～冬の自然の様子に気付き、それを生かして遊びを創り出す面白さに気付いている。
B～冬ならではの遊びを創り出し、遊びの面白さに気付いている。

【主】

A～友だちとの話し合いでアイデアを出し合い、みんなで楽しめるような約束やルールとなるよう、粘り強く遊びを創り出そうとしている。
B～みんなで楽しめる遊びを創り出そうとしている。

9. 板書計画



《良かった点》

《課題》

《アイデア・改善策》

1 単元名 「知床の自然を守る～意見文を書こう」（13時間）

2 単元のねらい（目標）

羅臼町の自然を守る取り組みや水産業の現状を知り、羅臼町の自然を守るために自分たちができることを考え、意見文にまとめることができる。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>① 水産物の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などについて，地図帳や統計などで調べて，必要な情報を集め，読み取り，水産業の概要や水産業に関わる人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>② 調べたことを文や表などにまとめ，水産業は自然条件を生かして営まれていることや，水産業に関わる人々は生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして，良質な食料を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解している。</p> <p>③ 羅臼の自然について理解を深めている。</p>	<p>① 水産物の種類や分布，生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用，生産量の変化などに着目して，問いを見いだし，水産業の概要や水産業に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。</p> <p>② 水産業に関わる人々の様々な工夫や努力を総合して，それらの人々の働きを考えたり，学習したことをもとにこれからの水産業の発展について考えたりして，適切に表現している。</p> <p>③ 羅臼の自然について理解を深め，自分の考えを持っている。</p>	<p>① 我が国の水産業について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことをもとにこれからの水産業の発展について考えようとしている。</p> <p>③ 羅臼の自然について理解したことをまとめようとしている。</p>

4 指導と評価の計画

小単元名 (時数)	○学習活動 ・児童生徒の反応	知	思	態	※指導上の留意点 ☆外部連携
水産業のさか んな地域 (5時間)	○日本の水産業の課題や工夫 や努力を調べる。 ・日本全体で漁獲量が減って いるんだね。 ・農業と一緒に働き手も少な くなっているよ。 ・養殖は安定して収穫できる んだね。	① ②	① ②	① ②	※水産試験場の 方に 地域の海 に住んで いる 生き物の説明 をしていただく 。
くま学習 (3時間)	○知床の自然の現状について 知る。 ・くまが人里に現れる原因 は人間が悪いんだね。 ・不法投棄があるなんて知 らなかった。	③			☆ビジターセン ターや役場の方 に羅臼町の自然 やクマについて 説明していただ く。
さけ学習 2時間	○漁業組合の方に羅臼町の漁 業の現状について教えてもら う。 ・やはり、漁獲量が減ってき ているんだね。 ・養殖漁業も始めているんだ 。	③			☆漁業組合の方 に、羅臼の現状 について説明し ていただく。
意見文を書こ う。 (3時間)	○羅臼町の自然を守るために 自分たちの意見をまとめよう 。 ・白神山地のように人が入れ ない場所を増やさないとけ ない。なぜなら・・・		③	③	国語「白神山地 の提言」で書い た意見文を参考 に学習を進める 。

5 本時の目標

○ビジターセンターでは、知床の自然を守るためにどのような取り組みをしているのか話を聞き、理解を深める。

○クマ学習を通し、クマを守る取り組みやクマと共存するために必要なことについて理解を深める。
(6・7 / 13時間)

6 評価規準

羅臼町のクマや自然について理解を深めている。(知識・技能③)

7 本時の展開

配時	○学習活動 ・児童生徒の反応	※指導上の留意点 ☆外部連携
30分	<p>ビジターセンターの方々からお話を聞き、ビジターセンターがどのような活動をしているのか、クマが人里に現れる理由について知る。</p> <p>○クマの生態について知る。</p> <p>○クマの食べ物や性格について知る。</p> <p>・肉以外にもたくさんの物を食べているんだな。</p>	<p>☆ビジターセンターや役場の方に羅臼町の自然やクマについて説明していただく。</p>
50分	<p>○実際のクマの骨や毛皮, 糞を見て理解を深める。</p> <p>・クマの食べているものは色々あるね。</p> <p>・クマが人間の生活圏に入ってくるのは、人のせいだったのか。</p> <p>○質問タイム</p> <p>・植林などはしていないんだね。</p> <p>・観光客への呼びかけなどもしているんだね。</p>	
10分	<p>学習を振り返ろう</p> <p>○学習を振り返り、新たな課題に気付</p> <p>・クマを守るためにも人が入れない場所をしっかりと作らなければいけないと思う。</p> <p>・羅臼の自然を守るためには、もっと、羅臼のことやクマのことを知ってもらわないといけないと思う。</p>	<p>※今回学んだことを基に、自分の意見を簡単にまとめる。</p>

8 他教科等との関連

- 国語 「 白神山地からの提言 」
「 町じまんを紹介しよう 」
- 社会 「 水産業のさかんな地域 」